

再 開 17:42

委員会を再開いたします。

これより討論、採決に入りますが、討論、採決は各会計ごとに行います。

最初に、「認定第1号 平成19年度飯塚市一般会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

○ 楡井委員

それでは、反対討論、趣旨ということでお許し願いたいと思います。合併による平準化という名のもとに、合併推進の際に約束されてきた、サービスは高い方に、負担は低い方というこの方向がことごとく逆転したこの2年間だったかと思えますし、さらにこの平成19年度の予算はそれは非常に顕著であるという点がまず第1点。さらに加えてこの行財政改革の名のもとに、市民の皆さん方の暮らしが押しつぶされようとしていることがいろいろな面で明らかになったというふうに思います。また、歳入の面でも、このスタンスというのはいくらも思いません。法に外れて手続を無視した取り立てというのが何度も繰り返されてきておりますし、差し押さえも激しい状況になってきています。

さらに、もう一点でいえば、自治体本来の仕事は、地方自治法に基づいて市民の暮らしや福祉、健康の増進、これに努めなければならないわけですが、今述べてきたような状況で逆行してきているということがはっきりしてるんじゃないかというふうに思います。そういう意味では、行財政改革もこの地方自治の本旨に基づいて、そういう立場で行われなければなりませんけれども、同和行政における税金の使い方、職員に犠牲を押しつけて人件費の削減を強行している状況、こういうのは許されることではないというふうに思います。

私たちは市民の皆様方と協力しながら、一つひとつ住みやすい飯塚市をつくるために頑張っていきたいというふうに思います。また詳しくはもう少し本会議の中で、もう少し具体的な実例等も述べて反対討論を作っていくつもりであります。

○ 委員長

ほかに討論はありませんか。

○ 田中廣文委員

賛成討論をやりたいと思いますけれども、今、反対討論みたいなあれがありましたけれども、やはり飯塚市の行政のあり方、公の施設等もどんどん進められておる中での、私は今までの努力がどんどん実ってきておるということを皆さんに申し上げておきたいと思えますし、私どもの総合計画に対する、人の命を大切に、住みやすいまちづくりをしていく上では、本当に予算的なものもすべて全うされておるというふうに思っておるところであります。

内容については、しっかり本会議の方で述べさせていただきます。そういう思いを持って賛成討論したいというふうに思います。

○ 委員長

ほかに討論はありませんか。

(な し)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第1号 平成19年度飯塚市一般会計歳入歳出決算の認定」について、認定することに賛成の委員は挙手願います。

(挙 手)

賛成多数。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第2号 平成19年度飯塚市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

○ 楡井委員

それでは、国民健康保険特別会計についての認定に反対をする討論を行いますが、一般会計

と同じように趣旨だけにさせていただきたいと思います。

この国民健康保険特別会計からも市民の生活の苦しさといいますか、困難さ、これが証明されたと思います。お金のないものは病院にもかかれないという状況も依然として続いています。3億4,500万円の黒字があるということについても、その原因も一応明らかにされました。こういう困ったお金を一刻も早く市民に返すべきではないかというふうに思うわけです。後期高齢者医療制度のいろんな問題点、これは、市議会でも確認もされてきた内容でもありますし、ぜひともこれは今後とも整理していかなければなりません。

この後期高齢者医療制度は、今御指摘もあっているようですが、平成20年度から実施されたものでありますから、直接的には関係ありませんけれども、そういう立場を反映させていきたいというふうに思います。よろしく願いいたします。

○ 委員長

ほかに討論はありませんか。

(な し)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第2号 平成19年度飯塚市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定」について、認定することに賛成の委員は挙手願います。

(挙 手)

賛成多数。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第3号 平成19年度飯塚市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

(討論なし)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第3号 平成19年度飯塚市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定」については、認定することに御異議ありませんか。

(異議なし)

御異議なしと認めます。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第4号 平成19年度飯塚市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

○ 楡井委員

認定第4号、介護保険特別会計についての反対の立場の表明であります。

法の改定の結果とはいえ、車いすでは1,025人、特殊ベッドでは2,787人の人から、いわゆる貸しはがしが行われて、給付費は4,077万円、そのうちの市の負担は、509万円ぐらい削減されています。それも平成18年以降、保険料が増える中でのことでありまして、当然、飯塚市は合併年度でありましたから、4町は広域連合、飯塚市は単独ということでございましたから、保険料の比較はできないのが残念でありますけれども、個々の被保険者にとってみれば保険料が値上がりしている状況の中での問題であります。

そんな中で、市の独自減免をもっと活用しやすいものにするように大いに努力もしていただかなければなりませんし、また、認定変更に対する不信、不満の市民の方たちの声も聞いておりますので、そういう意味では、この認定変更の際には、丁寧な説明が求められるんじゃないかというふうに思っております。

いずれにいたしましても、先ほどの介護保険そのものについては、これは、認定を認めるというわけにはいかないということを表明したいと思います。

○ 委員長

ほかに討論はありませんか。

(な し)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第4号 平成19年度飯塚市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定」について、認定することに賛成の委員は举手願います。

(挙 手)

賛成多数。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第5号 平成19年度飯塚市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

○ 楡井委員

質疑の中で、膨大な滞納の問題について、●（聞き取り不能）●というところちょっと語弊があるかもしれませんがけれども、その意味ではもっと真剣な取り組みが必要なんじゃないかというふうに思います。もう少し詳しくは本会議の中で文書化して発表もしたいというふうに思いますが、とりあえずこの程度で、きょうの反対の表明にさせていただきます。

○ 委員長

ほかに討論はありませんか。

○ 田中廣文委員

この件につきましては、同和地区の住環境、法律に基づいてこれは施行されたものでありますし、同和地区の住環境は非常に見違えるように良くなりました。私が目をつむって40年先の同和地区を見てみますと、本当に地区外からの思いと申しますか、違いと申しますか、そういうものが、ここにこの住宅新築資金による大きく変化した部分があるかというふうに私は思っております。

そういう意味では、このことについては、やっぱり当然あらなければならなかった会計でありますし、先ほど申し述べられるように、借金については払うことが大前提あります。これを努力をしていただきたいということは申し述べておきますけれども、結果的に同和地区が生まれ変わったということもこの会計によってできたことですから、私は賛成の立場で討論させていただきます。

○ 委員長

ほかに討論はありませんか。

(な し)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第5号 平成19年度飯塚市住宅新築資金等貸付特別会計歳入歳出決算の認定」について、認定することに賛成の委員は举手願います。

(挙 手)

賛成多数。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第6号 平成19年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

○ 楡井委員

きょうは、先ほどから言ってますように趣旨だけにしたいと思いますが、このオートレース事業というふうに言うとまずいんですか、小型自動車競走事業特別会計についても、先ほど質問はしませんでしたけど、6億円を超える赤字を抱えておるようであります。そういう赤字を抱えてまで継続しなければならない事業なのかという疑問も起こりますし、さらにはギャンブルを他自治体の方に移出するというような状況も生まれているようであります。そういうことは、やはりこの会計決算も認めるわけにはいかないということで、反対を表明したいと思います。

○ 委員長

ほかに討論はありませんか。

(な し)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第6号 平成19年度飯塚市小型自動車競走事業特別会計歳入歳出決算の認定」について、認定することに賛成の委員は挙手願います。

(挙 手)

賛成多数。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第7号 平成19年度飯塚市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

○ 楡井委員

これもきょうは趣旨だけにしておきたいと思います。運営基金はやはり別途に考えて、利用者から集めたお金を積み立てていくということはやっぱり考え直さなければならぬんじゃないかというふうに思いますので、そういう趣旨で反対討論を本会議では述べたいというふうに思います。

○ 委員長

ほかに討論はありませんか。

(な し)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第7号 平成19年度飯塚市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定」について、認定することに賛成の委員は挙手願います。

(挙 手)

賛成多数。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第8号 平成19年度飯塚市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

(討論なし)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第8号 平成19年度飯塚市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定」については、認定することに御異議ありませんか。

(異議なし)

御異議なしと認めます。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第9号 平成19年度飯塚市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

(討論なし)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第9号 平成19年度飯塚市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定」については、認定することに御異議ありませんか。

(異議なし)

御異議なしと認めます。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第10号 平成19年度飯塚市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

(討論なし)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第10号 平成19年度飯塚市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定」については、認定することに御異議ありませんか。

(異議なし)

御異議なしと認めます。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第11号 平成19年度飯塚市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

○ 楡井委員

これも反対の趣旨だけを述べさせていただきます。6,500万円もかけた調査報告書を真剣に学んでいない、そういう意味ではギャンブル性の高い事業であるし、リサーチパーク失敗のこの経験、教訓、これを学んでいないということでもあります。さらに、三菱マテリアルという大企業優先の具体的な姿がここにあらわれているんじゃないかと、こういうことを趣旨に本会議では反対討論をさせていただきます。よろしくをお願いします。

○ 委員長

ほかに討論はありませんか。

(な し)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第11号 平成19年度飯塚市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定」について、認定することに賛成の委員は挙手願います。

(挙 手)

賛成多数。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第12号 平成19年度飯塚市汚水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

(討 論 な し)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第12号 平成19年度飯塚市汚水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定」については、認定することに御異議ありませんか。

(異 議 な し)

御異議なしと認めます。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第13号 平成19年度飯塚市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

○ 楡井委員

この会計につきましても、討議の中で明らかになりましたように、食の安全に対してちょっと無頓着じゃないかというふうにも思います。さらに、地産地消の拡大、この視点がやっぱりもう少し強くなければならないんじゃないか。このことが地域に開かれた学校の一部分にもなっていくんじゃないかなというふうにも思います。そういう意味で、この事業、今年度の分については認定できないということでもあります。

○ 委員長

ほかに討論はありませんか。

(な し)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第13号 平成19年度飯塚市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定」について、認定することに賛成の委員は挙手願います。

(挙 手)

賛成多数。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

次に、「認定第14号 平成19年度飯塚市養護老人ホーム運営事業特別会計歳入歳出決算の認定」についての討論を許します。討論はありませんか。

○ 楡井委員

きょうの時点で討論なしで反対の表明だけをさせていただきます。よろしくをお願いします。

○ 委員長

ほかに討論はありませんか。

(な し)

討論を終結いたします。

採決いたします。「認定第14号 平成19年度飯塚市養護老人ホーム運営事業特別会計歳入歳出決算の認定」について、認定することに賛成の委員は挙手願います。

(挙 手)

賛成多数。よって、本案は認定すべきものと決定いたしました。

正副委員長を代表しまして一言申し上げます。本当に至らない委員長でございまして、大変皆様に御迷惑をおかけいたしました。しかしながら、2日間という非常に短期の時間で審査を終了させていただいたということにつきましては、委員各位、執行部の皆さん方の本当に御協力のたまものだというふうに感謝をいたしております。しかし、時間的には短かったということではあっても、中身については、これはすばらしい審査をしていただいたと。本当に熱のこもった意見交換、質疑応答がなされたというふうに思っております。本当に心から感謝を申し上げる次第であります。

さて、委員会の中の審査において、各委員から大変貴重な指摘なり、御意見等たくさん出ております。要望等も出ております。執行部におかれましては、この意をよく酌んでいただきまして、市民福祉の向上、市民サービスの向上といった面に今まで以上の御努力、御尽力を賜りたいなというふうに思っております。本当に2日間、長い時間でしたが、お疲れさまでございました。ありがとうございました。

以上をもちまして、平成19年度決算特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでございました。